

別表2

## ブライダル科 教育課程 (新)

区分	履修科目名	1年		2年		合計		実務経験 担当教員		
		単位	時間	単位	時間	単位	時間			
必須科目	ブライダル分野	講義	ブライダルコスチュームⅠ	1	30			1	30	
			ブライダルコスチュームⅡ	1	30			1	30	
			ブライダル概論	1	30			1	30	
			ブライダル企業研究	1	30			1	30	○
			BIA検定Ⅰ	1	30			1	30	
			BIA検定Ⅱ	1	30			1	30	
			BIA検定Ⅲ			1	30	1	30	
			BIA検定Ⅳ			1	30	1	30	
			ABC検定Ⅰ	1	30			1	30	
			ABC検定Ⅱ			1	30	1	30	
	実習	イベントプロデュースⅠ	4	120			4	120	○	
		イベントプロデュースⅡ			4	120	4	120		
		レストランサービス			1	30	1	30		
		フラワーコーディネイトⅠ	1	30			1	30		
		ブライダルセレモニー実習	1	30			1	30		
		ブライダルプランニング実習	1	30			1	30		
		インターンシップⅠ	2	60			2	60		
		インターンシップⅡ	2	60			2	60		
	ビジネス分野	講義	ビジネススキルアップⅠ	1	30			1	30	
			ビジネススキルアップⅡ			1	30	1	30	
			ビジネススキルアップⅢ	1	30			1	30	
			ビジネススキルアップⅣ			1	30	1	30	
			サービス接遇Ⅰ	1	30			1	30	
			サービス接遇Ⅱ	1	30			1	30	
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅰ	1	30			1	30	
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ			1	30	1	30	
			セールスプロモーション			1	30	1	30	
			実習	基本IT技術Ⅰ	1	30			1	30
基本IT技術Ⅱ	1	30				1	30			
トータル ビューティ分野	講義	トータルビューティ基礎学Ⅰ	1	30			1	30		
		色彩学	1	30			1	30		
	実習	ブライズメイクヘア			1	30	1	30		
		着付け・作法	2	60			2	60		
		メイクアップ基礎	2	60			2	60		
		ネイル基礎			3	90	3	90		
		ヘアアレンジ	1	30			1	30		
(必須)		32	960	16	480	48	1,440			
選択科目	ビジネス分野	講義	ビジネス基礎学	1	30			1	30	
			現代ホテル理論	1	30			1	30	○
			マナープロトコール			1	30	1	30	
			ビジネス電話対応			1	30	1	30	
			ブライダルサロン	2	60			2	60	
			サロン管理実習			2	60	2	60	
			キャリアデザイン	1	30			1	30	
	ブライダル分野	実習	メイクセラピー	2	60			2	60	
			ブライダルアロマ			1	30	1	30	
		講義 実習 研修	ブライダル映像基礎			1	30	1	30	
			イラスト・デッサン			1	30	1	30	
			フラワーコーディネイトⅡ			1	30	1	30	
	ウェディングプランナー演習			1	30	1	30			
	選択科目計(選択)		7	210	9	270	16	480		
	総計(必須+選択)		39	1170	25	750	64	1,920		

※卒業の要件：必須科目 48単位(1,440時間)以上 および選択科目16単位(480時間) 計64単位(1,920時間)以上の履修

※単位：90分 x 15週の座学(授業) または 実習 をもって1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途決定する

※科目履修(単位)認定の要件：80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

科目名	ブライダル企業研究		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	婚礼会場はどのような場所にあるのか、そこではどのような仕事があるのか、関連業種などについて調べる。7月のインターンシップリテラシーにも取り組む。ブライダル業界をプレ・当日、新生活部分に分けて様々な角度から検討し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界を調べる事によって業界内の様々な職種を知る。また、そこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高める。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	就活ナビノート							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業界とは何かについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	ガイダンス	ブライダル業界の関連企業はどのようなものがあるか理解する						
第2回	ブライダル業界企業の特徴①	上場、未上場、親会社が他業種などブライダル企業の現在を知る						
第3回	ブライダル企業の特徴②	グループワークでブライダル企業を調べる						
第4回	ブライダル業界調査 発表	前回調べた企業を発表する						
第5回	企業研究 株式会社プラス	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第6回	企業研究 株式会社ブランドゥシー	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第7回	企業研究 株式会社ティアーズブレイン	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第8回	企業研究 株式会社スタイルズ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第9回	企業研究 株式会社I K K	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第10回	企業研究 株式会社ノバレーゼ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第11回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて						
第12回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて						
第13回	インターンシップ先の企業研究	リーガ、祝言、キヨミズ など						
第14回	インターンシップ先の企業研究	オークラ他						
第15回	まとめとインターンに向けての心構え	これまでのまとめとその業界に求められる人物像などについて学ぶ インターンシップリテラシーの学習 お礼状準備						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○				10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村			実務経験紹介	<a href="https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

科目名	イベントプロデュースⅠ		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業務全般を幅広く学び、特に構内で実施するリアルウェディングのカップルを募るためのSNS発信(集客業務)を実際に行う。リアルウェディングにつなげ、より実際に近い婚礼業務を経験し、身に付ける							
授業の一般目標	婚礼現場で実際に行われている集客→新規→施工という一連の流れを学び、プランナーとしてのプロデュース力を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. SNSでの集客方法について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルや模擬挙式向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第2回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第3回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第4回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第5回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第6回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リハーサルを繰り返し行い、当日のアクシデントに備え、対策を考える						
第7回	リアルウェディング又は模擬挙式について	アワードに向け、ウェディングの振り返り						
第8回	リアルウェディング又は模擬挙式について	エントリシート作成						
第9回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第10回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第11回	リアルウェディング	6月のリアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第12回	リアルウェディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う						
第13回	リアルウェディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う						
第14回	リアルウェディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う						
第15回	期末試験	リアルウェディングについての論文を作成し、提出						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村			実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>			

科目名	現代ホテル理論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ホテルをビジネスモデルとして、運営・経営の仕組みや活動を学びます。講義では、実際のホテルの活動を中心に、収益管理・組織・人材育成・危機管理など、ホテルビジネスを構成する経営の仕組みを、学ぶ。							
授業の一般目標	ホテルのマネジメントに必要な、ホテルの経営形態や、危機管理、マーケティング、メンテナンス、施設管理、人材管理などの知識の習得。ホテル・旅館・レストランの起業、経営のための不動産事業の側面を学び、所有・運営・経営の分離など、外資系ホテルの経営と日経ホテルの経営を比較・分析し、これからのホテル経営の在り方を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ホテルについて説明する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. ホテル以外の業界もマーケティングする事で他業界とホテル業界の違いを理解する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でホテルについて主体的に考える事が出来る							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	オープニング、授業計画の説明、ホテルについてのディスカッション						
第2回	ホテル業界の現状とホテル産業の展望	現状のホテル業界と今後の展望について学び理解する						
第3回	ホテルの運営・経営形態・運営組織	ホテルの運営・経営形態・運営組織について学び理解する						
第4回	ホテルのリブランドとリノベーション	ホテルのリブランドとリノベーションについて学び理解する						
第5回	ホテル経営における環境への適応と社会的貢献	ホテル経営における環境への適応とは何か、ホテル経営がどのような社会貢献を果たすかを学び理解する						
第6回	ホテルの利益構造と収益管理手法	ホテルの利益構造と収益管理手法を学び理解する						
第7回	部門別の損益管理手法	部門別の損益管理手法について学ぶ。それぞれのセクションでの管理方法を学び理解する						
第8回	施設の維持管理とメンテナンス・清掃	施設の維持管理とメンテナンス・清掃について理解する						
第9回	ホテルの人材マネジメント	ホテルの人材マネジメントと他業種の人材マネジメントの違いについて学び理解する						
第10回	ホテル経営における危機管理戦略	ホテル経営における危機管理戦略について学び理解する						
第11回	日本型の経営理念と外資系ホテルの企業文化	日本型の経営理念と外資系ホテルの企業文化の違いを学ぶ						
第12回	不動産経営とホテル経営とのかかわり①	不動産経営とホテル経営とのかかわり①						
第13回	不動産経営とホテル経営とのかかわり②	不動産経営とホテル経営とのかかわり②						
第14回	ホテルの事業計画①	ホテルの事業計画①						
第15回	ホテルの事業計画②	ホテルの事業計画②						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村		実務経験紹介	<a href="https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/">https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/</a>				